



慎重な手つきで校内の池に幼虫を放流する児童

# 飛ぶのが楽しみ

児童がホタルの幼虫放流

紀北・船津小

紀北町立船津小学校（井上隆雄校長）の6年生7人が、校内の池にホタルの幼虫を放流した。

ければ6月初旬には成虫になるといふ。

渡上美穂ちゃん（11）は「水槽の掃除が一番大変だった。成虫になって飛ぶのが楽しみ」と話していた。

児童たちは昨年、町内の河川で飛ぶホタルを観察。ホタルの保護活動をしている同町の田上至さん（44）が孵化させた幼虫を分けてもらい、指導を受けながら週2回、餌のカワニナを与えたり、水槽の掃除をしたりして飼育を続けてきた。

この日、7人は1・5センチほどに成長した幼虫100匹をそっと池に放した。早